

えほんの紹介

『ピーナッツ なんきんまめ らっかせい』

こうや すすむ/文 中島睦子/絵 福音館書店



「らっかせい」の殻を割ったら「なんきんまめ」、なんきんまめの赤茶色のうす皮をむいたら「ピーナッツ」。よく見かけると、食べたことあるでしょう？

ナッツっていうから木の実かな？ いえいえ実は畑で土の中にできる豆なんです。あらっ、ふしぎ、ふしぎ！ どうやって土の中にできるのでしょうか？ 「らっかせい」は落花生と書きますが、その通りなんです。落花生のしおれた花のねもとから針のようなものが伸びて地面に入り、針の先がふくらんで殻にはいった豆(落花生)になるんです。どうぞこの本を手にとって確かめてください。落花生ってほんとうにふしぎでおいしい豆ですね！

小さなおともだち “あにき〜”

Sくんの大好きなぬいぐるみの名前は“ねこちゃん” よく見るとヒョウのような灰色に黒のまだら模様。でも灰色が石の色のようなので最近“いしちゃん”と呼んでいます。

いしちゃんは治療やリハビリも時々一緒に、Sくんを勇気づけています。Sくんは大好きないしちゃんやお気に入りのおもちゃを、自分より小さい子たちに貸してあげる時もあります。小さい子たちは大喜び。その優しさにママたちはSくんを「あにき〜」と呼びます。

するとSくんは頭を少し下げ、上目づかいにして眉毛をよせて「あにきっていうな!」とおこります。それは照れ隠しかな？ 周りを笑顔にしてくれるS君です。



季節のわらべうた

♪ やすべえじじいは うんぼんぼん
 やすべえじじいは うんぼんぼん
 そういうたぬきも うんぼんぼん
 うんぼんぼん うんぼんぼん

遊び方：リズムよく両手でひざをたたいたり、手をうったり(叩)叩きやすべえじじいとたぬきとのかげあいをたのしみましょう。



『サリーのこけももつみ』

ロバート・マックロスキー/文・絵 石井桃子/訳 岩波書店

小さな女の子サリーはおかあさんと山へこけももつみに行きます。冬に食べるジャムを作るためです。おかあさんはせつせとこけももをつんでいるのに、サリーはつんでは食べてばかりです。



山の反対側では、くまの親子がこけももを食べにきています。寒くて長い冬ごもりの前にいっぱい食べておかなければなりません。

そのうち、二組の親子はこけももつみに夢中になっているうちに、それぞれの親と子を取り違えてしまいます。おかあさんと母くまのびっくりした顔！ さあ、たいへん！

白地に紺一色で描かれた絵は、大きな野山の広がり、人と動物の表情をユーモアたっぷりに生き生きと描いています。見返しのジャム作りの絵もたのしんでください。

しいと「食べ物づくし」 ー秋のまきー



A: $くり - \bigcirc \bigcirc \bigcirc - ごま - \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc - とんかつ - ツナ - \bigcirc \bigcirc - しそ - \bigcirc \bigcirc - \text{ハロウィン}$



B: やきいも - $\bigcirc \bigcirc$ - チョコレート - $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ - しいたけ - $\bigcirc - \bigcirc$ - キウイ - いか - $\bigcirc \bigcirc$ - きなこ - $\bigcirc \bigcirc \bigcirc - \text{秋}$



11月・12月・1月・2月・3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月